
平成31年 第1回(定例)由布市議会会議録(第5日)

平成31年3月7日(木曜日)

議事日程(第5号)

平成31年3月7日 午前10時00分開議

- 日程第1 報告第1号 専決処分の報告について
- 日程第2 報告第2号 専決処分の報告について
- 日程第3 報告第3号 専決処分の報告について
- 日程第4 報告第4号 専決処分の報告について
- 日程第5 報告第5号 例月出納検査の結果に関する報告について
- 日程第6 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて「平成30年度由布市一般会計補正予算(第5号)」
- 日程第7 議案第12号 由布市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について
- 日程第8 議案第13号 由布市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第9 議案第14号 由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について
- 日程第10 議案第15号 由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について
- 日程第11 議案第16号 由布市職員特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- 日程第12 議案第17号 由布市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第13 議案第18号 由布市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例の一部改正について
- 日程第14 議案第19号 由布市国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第15 議案第20号 由布市国民健康保険条例の一部改正について
- 日程第16 議案第21号 由布市重度心身障がい者医療費の支給に関する条例の一部改正について
- 日程第17 議案第22号 由布市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第18 議案第23号 由布市都市公園条例の一部改正について
- 日程第19 議案第24号 由布市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道

技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について

- 日程第20 議案第25号 市道路線（中島2号線）の認定について
日程第21 議案第26号 平成30年度由布市一般会計補正予算（第6号）
日程第22 議案第27号 平成30年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
日程第23 議案第28号 平成30年度由布市介護保険特別会計補正予算（第3号）
日程第24 議案第29号 平成30年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
日程第25 議案第30号 平成30年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
日程第26 議案第31号 平成30年度由布市水道事業会計補正予算（第2号）
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 報告第1号 専決処分の報告について
日程第2 報告第2号 専決処分の報告について
日程第3 報告第3号 専決処分の報告について
日程第4 報告第4号 専決処分の報告について
日程第5 報告第5号 例月出納検査の結果に関する報告について
日程第6 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて「平成30年度由布市一般会計補正予算（第5号）」
日程第7 議案第12号 由布市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正について
日程第8 議案第13号 由布市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
日程第9 議案第14号 由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について
日程第10 議案第15号 由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について
日程第11 議案第16号 由布市職員特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
日程第12 議案第17号 由布市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
日程第13 議案第18号 由布市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例の一部改正について
日程第14 議案第19号 由布市国民健康保険税条例の一部改正について
日程第15 議案第20号 由布市国民健康保険条例の一部改正について
日程第16 議案第21号 由布市重度心身障がい者医療費の支給に関する条例の一部改正について

- 日程第17 議案第22号 由布市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める
条例の一部改正について
- 日程第18 議案第23号 由布市都市公園条例の一部改正について
- 日程第19 議案第24号 由布市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道
技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第25号 市道路線（中島2号線）の認定について
- 日程第21 議案第26号 平成30年度由布市一般会計補正予算（第6号）
- 日程第22 議案第27号 平成30年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第23 議案第28号 平成30年度由布市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第24 議案第29号 平成30年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第25 議案第30号 平成30年度由布市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第26 議案第31号 平成30年度由布市水道事業会計補正予算（第2号）

出席議員（17名）

1番 佐藤 孝昭君	2番 高田 龍也君
3番 坂本 光広君	4番 吉村 益則君
5番 田中 廣幸君	6番 加藤 裕三君
7番 平松恵美男君	8番 太田洋一郎君
9番 加藤 幸雄君	10番 鷺野 弘一君
11番 甲斐 裕一君	12番 梶野けさ子君
13番 佐藤 人已君	14番 田中真理子君
15番 工藤 安雄君	16番 長谷川建策君
17番 佐藤 郁夫君	

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 首藤 康志君	書記 一野 英実君
書記 小川 晃平君	

説明のため出席した者の職氏名

市長	相馬 尊重君	副市長	太田 尚人君
教育長	加藤 淳一君	総務課長	漆間 尚人君
財政課長	佐藤 公教君	総合政策課長	一尾 和史君
税務課長	河野 克幸君	人権・同和対策課長	清藤 勝己君
会計管理者	鶴原 章二君	建設課長	佐藤 洋君
福祉事務所長兼福祉課長			栗嶋 忠英君
健康増進課長	馬見塚美由紀君	子育て支援課長	庄 忠義君
商工観光課長	衛藤 浩文君		
挾間振興局長兼地域整備課長			大久保隆介君
挾間地域振興課長	森下 祐治君		
庄内振興局長兼地域振興課長			田邊 祐次君
湯布院振興局長兼地域振興課長			右田 英三君
湯布院地域整備課長	溝口 信一君		
教育次長兼教育総務課長			八川 英治君
消防長	亀田 博君		

午前10時00分開議

○議長（佐藤 郁夫君） 皆さん、おはようございます。議員及び市長初め執行部各位には、本日もよろしくお願ひ申し上げます。

ただいまの出席議員数は17人です。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。執行部より、市長、副市長、教育長及び関係課長の出席を求めています。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程第5号により行います。

これより、各議案の質疑を行います。発言につきましては、議案ごとに通告書の提出順に許可をしますが、会議規則及び申し合わせ事項を遵守の上、質疑、答弁とも簡潔にお願いします。なお、自己の所属する常任委員会に関連する事項につきましては、所属委員会をお願いします。

日程第1. 報告第1号

○議長（佐藤 郁夫君） まず、日程第1、報告第1号、専決処分の報告についてを議題として、質疑を行います。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。まず、14番、田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） おはようございます。よろしくお願ひいたします。それでは、

お伺いをいたしますが、1点、私の報告の4号は、取り下げをします。少し中身が違いますので、報告1、2、3一括に質問させていただきますのでよろしくお願いいたします。

毎回、この道路事故、交通事故等が報告されているんですが、今回は道路の案件が3件ありましたので、そのあたりについてお伺いをいたします。

定期的に道路のパトロールとかを実施しているのでしょうか。それと近年は、自治委員さんを通じて、こういった道路の異常箇所等があったら報告してもらうようには依頼をしているとは思いますが、そのあたりはどうでしょうか。報告をお願いします。説明をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 洋君） 建設課長です。お答えいたします。

初めに、今回の議会においても、道路管理箇所による事故報告等が発生しまして、まだまだ改善が見られないということで、管理を携わる課として、大変深く反省をしております。道路の定期的なパトロールについては、今現状では定期的なパトロールという形では行っていないのが現状でございます。

それと、自治委員を通しての道路の異常箇所の報告等については、今、各地域自治委員全てではございませんが、報告をいただいている自治区もございます。今後も、異常箇所の報告等を御協力を賜ればありがたいなと思っておりますし、またその旨協議をしたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（佐藤 郁夫君） 田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） やはり早目の修理とか早目に手当するのが、やはり大きな事故につながらないと思いますので、できるだけ、自治委員さん通じたり、それから鷺野弘一議員がメールアプリ等で皆さんから御報告もらったかどうかとかいうことも検討してみる余地があるのではないかと思います。

保険をかけているからいいとかいうものではないと思いますし、今回も財源がない中で、皆さんいろんな苦勞をされておりますので、こういった小さな支出も、やはり積もり積もれば大きくなっていきますので、パトロールにせよ、どこか出かけるときに、もし気がついたら報告をもらって予算の範囲の中でできるところはしていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、9番、加藤幸雄君。

○議員（9番 加藤 幸雄君） 今、田中真理子議員の質問で、大体わかりましたけども、過失割合が70%となっているのは、これは通常は100%がずっとあったような気がするんですけど、

この割合はどのようなふうな出し方をしている。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） 総務課長です、お答えをいたします。

過失割合につきましては、報告1号から3号までございますので、1号ですから1号について申し上げます。

この事故の当日は雨が降っておりまして、時間は午後6時半ということで、相当に暗くなっておりまして、それから離合するために運転手が路肩に寄ったという状況を加味しまして、本人の過失分が小さいと判断をいたしております。70%という数字につきましては、過去の同様の事例等で用いられた賠償額を参考にしてしております。これは市が加入しております保険会社と協議をして算出したものでございます。

○議長（佐藤 郁夫君） 加藤幸雄君。

○議員（9番 加藤 幸雄君） ということは、これは保険会社との話し合いで、70になったり60になったり80になったりちゅうこともあり得るという考えでいいんですか。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） この70%という数字は、事例をもとに保険会社は大体このくらいですよということでアドバイスをいただきます。その数字をもって、市の職員が事故の該当者、相手の方と協議をして、そこで合意を得るという形にしております。

○議長（佐藤 郁夫君） 加藤幸雄君、3回目です。

○議員（9番 加藤 幸雄君） わかりました。それで、このくぼみとか穴ぼこがいっぱいできているというなのが、ずっともう毎回、毎回あるんですけども、市道の中に地図を入れて、職員がここは見た、ここは見たとか、ここは自分の通勤経路だとかいう、そういう表ちゅうんかな、図面でわかるような形のものというのは、今つくっているのかつくっていないかればつくる予定があるのかどうかお聞きします。

○議長（佐藤 郁夫君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 洋君） お答えいたします。

市道等の陥没とか、その部分の地図に落としているというのは、現在しておりません。ただ、今後パトロール等改善したいと思っておりますし、そういった中でどこどこをチェック、日付とかそういうチェックをしたというのは、必ず履歴として残しておきたいというのは考えております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） これで質疑を終わります。

日程第2. 報告第2号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第2、報告第2号、専決処分の報告についてを議題として質疑を行います。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。まず、14番、田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） 済みません、私は一括でしましたので、報告3号まで、いいです。

○議長（佐藤 郁夫君） わかりました。

次に、9番、加藤幸雄君。

○議員（9番 加藤 幸雄君） この前、阿蘇野小学校の閉校式があったんで、この道私通ったんじゃないかなと思うんですけど、確かに石ころが落ちてきそうなところが数カ所ありましたけども、前回もちょっと言ったかと思うんですけど、落石注意とかいう立看板を立てたらどうかという話をしたと思うんですけども、こういうところに看板を立てているのは、大体100%はいかんでも半分以上は建て看板を立てていますよちゅうのはあるんですか。

○議長（佐藤 郁夫君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 洋君） お答えいたします。

報告1号の落石による事故等は、すぐ現地を確認しまして、落石注意等の看板は設置をしているところがございます。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 加藤幸雄君。

○議員（9番 加藤 幸雄君） 私は行くときに、3カ所ぐらいは落石注意というあれは見たんですけどね、ただ、もう6月、7月になると大雨が降ると、どうしてもあちこちで落石ちゅうのは必ず出てくると思うんで、やはりあれがあるとないとは過失割合ちゅうのが違ってくるんじゃないかなという気がするんで、あの看板もそう高いもんじゃないと思うんで、これを保障から見れば、だから、みんなでパトロールするときに、ああここは石ころ落ちてきそうやなとかいうところがあれば、もう仮に落ちてこなくても、やはり皆さんに注意を促す意味で立てておくべきじゃないかと思うんですけど、どうですか。

○議長（佐藤 郁夫君） 建設課長。

○建設課長（佐藤 洋君） お答えいたします。

もうパトロールの時点でそういった不安な箇所があれば、率先して看板等を設置いたします。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） これで質疑を終わります。

日程第3. 報告第3号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第3、報告第3号、専決処分の報告についてを議題として質疑を行います。質疑の通告がありますので発言を許します。9番、加藤幸雄君。

○議員（9番 加藤 幸雄君） これ過失割合が30%ということになっている分と、足の骨を折っちゃったということがあるんですけども、私一般質問でもしたんですけども、街路樹の根っこがはびこっていて、それに足を引っかけて転んでけがをして骨折したというの、こういうのに多分該当するかなと思うんですけども、この過失割合の30%と私たちが質問したとかいうところの確認というものは、どういうふうな形になるのか教えてください。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） 過失割合30%について御説明申し上げます。

この事故当日は晴天で、時間帯も午後4時前という見通しのいい時間帯です。またひび割れの程度もそこまでひどく見られないこと、またこの方は徒歩で歩いておられましたので、避けて通ることもできたであろうということから、本人の過失割合を大きく計算しております。

市道にひび割れという事実を加味いたしましても、保険会社と協議いたしまして、過失割合は30%ということで算定をしております。

○議員（9番 加藤 幸雄君） 転んで骨折したら、私一般質問しているじゃないですか。

○議長（佐藤 郁夫君） わからん、きちんと立って。

○議員（9番 加藤 幸雄君） 一般質問したときに、根っこが持ち上がっていて、それに引っかけてこけたときの、骨折したときも、やはりこういう状況になるんですかちゅう。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） 根っこが盛り上がってというか、もしその道が市道であって、その根っこのせいで市道の道が盛り上がって、もしそこに誰かがつまずいてそういうことがあったときには、そのときの状況ですけども、過失割合が発生する可能性があると思います。

○議長（佐藤 郁夫君） 加藤幸雄君。

○議員（9番 加藤 幸雄君） 私一般質問したんですけども、湯布院町の中は結構穴ぼこできているところもあるし、根っこがはびこって、それで通行不便を来しているところもかなりあるわけです。だからそういうところは、地域振興課を含めて、皆さん方ちょっと確認していただかないと、こういうので保障を出していたらちょっといろいろ保障の分がかなり出てくるんじゃないかなという気がしますので、そこの確認をしてほしいのと。

1つ聞きたいんですけど、この4万9千幾らですけど、保険を使った部分の3割負担かなんかしたと思うんですけど、その分の30%なんですか、10割の30%なんですか。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） お答えをいたします。

この金額につきましては、保険会社との協議ということですので、恐らく治療にかかったうちの30%だというふうに思っております。

○議長（佐藤 郁夫君） よろしいですか。これで質疑を終わります。

日程第4. 報告第4号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第4、報告第4号、専決処分の報告についてを議題として質疑を行います。先ほど質疑の取り下げがありましたのでこれで質疑を終わります。

日程第5. 報告第5号

日程第6. 承認第1号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第5、報告第5号、例月出納検査の結果に関する報告について及び日程第6、承認第1号、専決処分の承認を求めることについて「平成30年度由布市一般会計補正予算（第5号）」は、質疑の通告がありませんので、これで質疑を終わります。

日程第7. 議案第12号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第7、議案第12号、由布市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正についてを議題として質疑を行います。質疑の通告がありますので、発言を許します。12番、淵野けさ子さん。

○議員（12番 淵野けさ子君） おはようございます。お願いします。由布市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正なんですが、議案第12号、お聞きしたいと思います。

時代に合ったものと考えているんですけども、そもそも104条第4項第2号というものは、どういう内容のものなのか、それから、現実に専門職を大学で学ぶということなんだろうと思うんですけども、現実に職員が行かれるような方がいらっしゃるのかどうか、それとあと議案第22号と議案第24号も同趣旨だと思うんですけども、どのように違うのか、お聞きしたいと思います。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） 総務課長です。お答えをいたします。

議案第12号、22号、24号の条例の改正につきましては、いずれも学校教育法の改正によりまして、専門職大学というものが設置されたことに伴うものでございます。第22号につきましては、放課後児童支援員になれる要件、それから24号は水道の布設工事監督者が有すべき資格に、それぞれ専門職大学の課程を終了したことを加えるものでございます。

12号の職員の自己啓発休業に関する条例につきましては、この学校教育法の改正によりまして、うちの条例の3章先が条ずれを起こしたことによりまして、その分を改正するものでございます。専門職大学というのは、これはもうもしかして教育委員会の所管かもしれませんが、大学、短期大学にあわせて、もう1つ専門職大学という大学が設置されて、そこを卒業した方については、学士という学位が授けられるという制度でございます。実際には、どんな大学があるかという2つあるそうです、現在。動物看護専門職短期大学、それから国際ファッション専門職大学という2校が東京に設立されまして、この2校が専門職大学という位置づけになっておるということでございます。

○議長（佐藤 郁夫君） 渕野けさ子さん。

○議員（12番 渕野けさ子君） ありがとうございます。わかりました。じゃあ、新しい大学が設置されたということでの、現実的に条例改正して、早速じゃあ具体的に職員を派遣するというそういうことあるんですか。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） 動物看護専門職大学、国際ファッション大学ができたんですが、今のところそういう研修に行く予定はございません。もしそのような自己啓発に学びたいという職員が出た場合には、普通の大学、短期大学にあわせて、こういう専門職大学の対象になるという、条文だけの改正でございまして、現在具体的にそういう希望があるとか、その辺は今のところございません。

○議長（佐藤 郁夫君） いいですか、これで質疑を終わります。

日程第8. 議案第13号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第8、議案第13号、由布市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正については、質疑の通告がありませんので、これで質疑を終わります。

日程第9. 議案第14号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第9、議案第14号、由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正についてを議題として質疑を行います。質疑の通告がありますので、発言を許します。14番、田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） 議長、14と15号、内容が似ていますので一括でよろしいでしょうか。

○議長（佐藤 郁夫君） いいです。

○議員（14番 田中真理子君） 14号は、市長特別職の、それから15号は職員の給与に関する条例です。今回市長、副市長は3%、職員は等級によって2%と1%、年間の減額はどれぐらいになるのでしょうか。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） お答えいたします。

減額による削減額でございますが、14号の市長を初め3役につきましては、これはもう31年度ベースで計算をしております。31年の4月から来年の3月までで試算でございますが、14号の3役につきましては、73万4,760円、それから15号の職員につきましては1,695万3,128円ということで、済みません、失礼しました1,621万8,368円、細かいんですけども、合わせて約1,700万円の減額になると計算をしております。

○議長（佐藤 郁夫君） 田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） 市長、副市長には申しわけないんですけど、こういう財源ですので、今回は3%を削減しようと思われたと思うんですけども、職員の給料を下げるということは非常にやはり士気を弱めるということで、前回平成27年のときでしたか、一遍3%下げたと思うんです。その後いろんな用事で地区を回りますと、なぜ下げたのか、下げたらいかんじゃないかということで、かなり私も怒られた経験があるんです。

そのときの27年のときに19億8,200万円の職員の人件費はそれだけしかかかっていないんです。そのときは収支比率がやはり91.4%で、基金残高も37億円になっているんです。今回も非常に厳しいのわかったので、これを市長は皆さんにこういう状況だから、職員にぜひこういうところに協力してくれないかということでお願いをしたんでしょうか。市長、そのあたり。

○議長（佐藤 郁夫君） 市長。

○市長（相馬 尊重君） お答えをいたします。

職員については、十分お願いをして、今の財政状況等を説明する中で、お願いをいたしました。

○議長（佐藤 郁夫君） 田中真理子さん、3回目です。

○議員（14番 田中真理子君） そうしますとこれは減額した部分のお金は基金になるんだと思います。できれば、私も職員の給料およそ2%ぐらいで計算したとき1,800万円ぐらいになったので、これで基金につき込むことによって、何らかの皆さんに手厚いサービスができるのかなと思ったんですけども、できれば職員が自己負担をしてでも何かこう、もうちょっと企業に向くとかいろんな地域に出ていって体験するとか、そういうところに使ってほしいなというふうに思ったんですけども、市長みずからが職員にお願いし、職員が納得したのであれば、今回はこういう状況でもいたし方ないかなと思いますが、できるだけ財源がない折ですので、皆さんで切磋琢磨していろんな事業に取り組んでほしいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

- 議長（佐藤 郁夫君） 答弁いいですか。
- 議員（14番 田中真理子君） はい。
- 議長（佐藤 郁夫君） これで質疑を終わります。

日程第10. 議案第15号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第10、議案第15号、由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正についてを議題として質疑を行います。質疑の通告がありますので、発言を許します。8番、太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） 田中真理子議員の質疑と同趣旨でございますが、実際その職員とお話をされて相談されてということで下げられるということでございますけれども、それによって職員のモチベーションというのは下がらないのかなというのが心配でございまして、やはり多少でも下がっていくということは、非常に精神的にもモチベーションが下がる原因になるのではないかなというふうに思うんですが、そのところの対応といいますか、対策みたいなものは何かお考えでしょうか。

○議長（佐藤 郁夫君） 総務課長。

○総務課長（漆間 尚人君） 総務課長でございます。お答え申し上げます。

職員に対しましては、市長初め職員組合とも十分協議をいたしまして、現在の財政状況からお願いを申し上げたところでございます。職員のほうからも、今の財政状況が震災以降、特に基金が減っている状況の中で、職員としても何とかしなければいけないという危機感については共有をいただいております。したがって、今回の賃金カットにつきましては、職員側としても協力したいというありがたい話をいただいております。

あわせて、職員といたしましては、この職員の給料をカットするだけではなくて、いろんな節約というか、市の財源を余分な支出をしないような取り組みを庁舎上げて取り組んでもらいたいという申し出もいただいておりますので、いずれ財政がもっと厳しくなって、一遍に大きい賃金カットを申し入れるのもしのびないということで、今回市長のほうから職員側にこうした申し入れをしたものでございます。職員側としても、自分たちの問題として危機感を持っているということで、大変心苦しいんですけども、そういう了解をいただいたところでございます。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） もちろん、その提案理由というのは、よく理解しますけれども、またこれ討論のときにも述べさせていただきますけれども、先ほどの課長言われたように、経費の削減であったり、そういったこと、日ごろの業務上のそういった工夫をすることで、僕は十分

いけるんでないかなというふうに思っておりますので、やみくもに人件費を削減するというのは、少し荒っぽいといえますか、そういったように感じますので、これも答弁結構でございますけれども、そのところはしっかりと配慮していただきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） これで質疑を終わります。

日程第 1 1. 議案第 1 6 号

日程第 1 2. 議案第 1 7 号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第 1 1、議案第 1 6 号、由布市職員特殊勤務手当に関する条例の一部改正について及び日程第 1 2、議案第 1 7 号、由布市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正については、質疑の通告がありませんのでこれで質疑を終わります。

日程第 1 3. 議案第 1 8 号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第 1 3、議案第 1 8 号、由布市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例の一部改正についてを議題として質疑を行います。質疑の通告がありますので、発言を許します。1 4 番、田中真理子さん。

○議員（1 4 番 田中真理子君） それでは、議案第 1 8 号、由布市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例の一部を改正する条例ですが、この件につきましては。前に、西郡議員がいらっしゃるときに、かなりこの同和対策について教えられました。そのときにもう既に済んでいるとは言いませんけれど、ある程度収まっているのかなと思ったんですが、またこういうような条例が上がってきましたので、ちょっとその経過をお伺いしたいと思います。

部落差別解消に関しては、昭和 4 4 年から部落差別同和対策において少し、それからの少し流れがあると思います。ここに至った経過を説明していただきたいと思います。

○議長（佐藤 郁夫君） 人権・同和対策課長。

○人権・同和対策課長（清藤 勝己君） 人権・同和対策課長です。お答えします。

まず流れということですので、始めさせていただきます。1 9 6 5 年、昭和 4 0 年です。同和対策審議会答申を政府に提出しております。同答申は、同和問題の解決は国の責務であると同時に国民的課題であると位置づけました。答申に基づき、1 9 6 9 年、昭和 4 4 年に 1 0 年間の時限法として同和対策事業特別措置法が施行され、その後 3 年間延長、法の期限切れごとに地域改善対策特別措置法、地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に係る法律が施行されました。

1996年、平成8年に地域改善対策協議会の意見具申が提出され、その中で特別対策の終了、すなわち一般対策への移行が同和問題の早期解決を目指す取り組みの放棄を意味するものではない旨の意見が出されました。それを受け、2000年、平成12年人権教育及び人権啓発の推進に関する法律が施行されて現在に至っております。

2002年、平成14年3月に、地対財特法が執行し、財政法上の特別措置による同和対策事業は終了いたしました。同和問題の解決を図るため、国は地方公共団体とともに昭和44年以来33年間、特別措置法に基づき地域改善対策を行ってきました。その結果、劣悪な環境に対する物的な基盤整備は着実に成果を上げ、一般地区との格差は大きく改善されました。

しかしながら、差別発言、差別待遇等の事案のほか、差別的な内容の文書が送付されたりする事案が依然として存在するほか、インターネット上で差別を助長するような内容の書き込みがされるという事案も発生しております。

そのようなことから、国会において、部落差別の解消の推進に関する法律が審議され、2016年12月施行されました。人権・同和行政として、偏見、差別意識の解消と人権意識の高揚を図るということで、これは相談体制の充実、啓発や教育の推進等を行うものであり、今回の条例改正はこれに基づくものであります。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） わかりました。また詳しい資料、後でいただきたいと思います。

要は2016年に施行された、部落差別解消推進法に基づいて、今回そのような条例改正になったということですね。はい、わかりました。

○議長（佐藤 郁夫君） これで、質疑を終わります。

日程第14. 議案第19号

日程第15. 議案第20号

日程第16. 議案第21号

日程第17. 議案第22号

日程第18. 議案第23号

日程第19. 議案第24号

日程第20. 議案第25号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第14、議案第19号、由布市国民健康保険税条例の一部改正についてから、日程第20、議案第25号、市道路線（中島2号線）の認定については、質疑の通告がありませんので、これで質疑を終わります。

日程第21. 議案第26号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第21、議案第26号、平成30年度由布市一般会計補正予算（第6号）についてを議題とします。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。

最初に、歳入続いて歳出の款別に通告順にしたがい発言を許します。

まず最初に、歳入について、14番、田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） それでは、議案26号歳入のページ13ページ、14ページです。

1款1項2目法人税です。減額の170万3,000円の理由を教えてください、この減額の。

○議長（佐藤 郁夫君） 税務課長。

○税務課長（河野 克幸君） 税務課長です、お答えいたします。

市民税法人分につきましては、30年12月期までおきまして、納税義務者の数はほぼ変わりませんでしたので、資本金等により課税します均等割は、ほぼ例年どおりでございましたけれど、所得に基づいて計算します法人税割が昨年比85%と減少しているため、追加の見直しを行いまして、減額補正を行いました。

法人税割の減少の要因でございますけど、水道業、建設業、不動産業等の一部で大幅な減少が発生したことによるものでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤 郁夫君） いいですか。次に、8番、太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） ページ数22ページでございます。19款1項の中で、財政調整基金の減額ですけれども、当初予定された額、予定と違いますかこの削減された分と違いますか、これは当初の見込みと違いますか、これぐらいは戻ってくるのかなというふうに思っておられたのかお伺いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 財政課長。

○財政課長（佐藤 公教君） 財政課長です。お答えをいたします。

今回の補正、財政調整基金の補正につきましては、約3億1,800万円ほどの減額ということなんですけど、これにつきましては、今回各課で歳入事業の入札残だったり実績に基づく額の確定等によって、各課で予算執行状況を精査した中で、こういう結果になりました。当初5億6,000万円を計上していたわけなんですけど、そういう状況を鑑みて、最終的にこういった形になりましたが、事前にこの補正額を予想することが非常に難しいなという、考えております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） もちろん当初予算組むときに基金を取り崩して充てざるを得ない、それは十分理解します。

そういった中で、当初予算を審議する中で5.6億円の基金取り崩しのこの分ぐらいは戻ってくるのかなど、戻ってくるのかちゅう言い方おかしいんですけども、これぐらいがまた減額されるのかなというふうに思っているんで、思っていたんですけども、そのところは少し戻りが少なかったのかな、厳しい状況であるなということは推測されるんですけども、これ出納閉鎖でこの数字が少した動くようなことは、実質的な数字が動くようなことは考えられるんじゃないか。

○議長（佐藤 郁夫君） 財政課長。

○財政課長（佐藤 公教君） お答えをいたします。

平成30年度につきましては、もうこの額で処理はさせていただきます。今後については、平成31年度の中で30年度の決算の剰余金が発生すれば、31年度の中で繰り越しと半分が基金積立という形で処理をされていきます。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君、3回目です。

○議員（8番 太田洋一郎君） はい、わかりました。入札減であるとか、予算組み替えであったり、あと事業達成での予算の減ということで、多分この減額があると思っておりますけども、やはり厳しい状況の中で、少しでも戻れるような御努力をいただけたらなというふうに思います。

以上です。答弁はいりません。

○議長（佐藤 郁夫君） 続いて、歳出に移ります。

まず、2款総務費について、まず14番、田中真理子さん、2つありますから2つとも、1個だけ、1個ずつか、なら1つずつね。

○議員（14番 田中真理子君） じゃあ30ページ、2款1項6目、30ページの19節、区分3です。小規模集落と支援対策事業ですが140万円の減になっております。これは里の暮らし支援事業補助金に減額ですが、その理由ですね。事業が達成できなかったのかどうか、そのあたり説明をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 総合政策課長。

○総合政策課長（一尾 和史君） 総合政策課長です、お答えをいたします。

里の暮らし事業費補助金につきましては、小規模自治体等で行う地域づくりの事業に対する支援ということになっております。平成30年度は、大津留地区の大津留まちづくり協議会のほうに交付いたしておりました。まちづくり協議会においては、備品購入の事業を行う上での補助で

ございました。

今回の減額の補正につきましては、事業計画に基づいて備品を整備していきましたが、結果的に精算をして140万円ほどの減額、つまりは260万円で一応30年度の事業については、完遂をしそうだということで減額補正をしたものでございます。

以上です。

○議員（14番 田中真理子君） わかりました。

○議長（佐藤 郁夫君） もう1個ある。どうぞ。

○議員（14番 田中真理子君） それでは32ページの2款1項9目の13節、区分1の13節です。地域活力づくり総合事業の設計で205万2,000円の減額となっておりますが、この説明もお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 挟間地域振興課長。

○挟間地域振興課長（森下 祐治君） 挟間地域振興課長です、お答えいたします。

205万2,000円の減額でありますけども、これは、由布川峡谷の新たなルート検討資料を作成のための測量設計業務委託の入札残によるものであります。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） いいですか。次に、田中洋一郎君、失礼、太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） 多分、質疑は田中議員と僕しか出ていないので、多分そういう言い方でもいいのかなというふうに思っておりますが、議案書30ページ、2款1項6目区分5、地域公共交通事業の委託料の減額理由ですけれども、予算の組み替えであつたり何だりなのかなというふうに思うんですが、これの詳細説明をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 総合政策課長。

○総合政策課長（一尾 和史君） 総合政策課長です、お答えをいたします。

コミュニティバスの運行委託につきましては、当初契約の時点では運賃収入を見込まないところで、年間の運行経費の契約を行いました。ただ実績に応じた運行経費については、交通事業者の方からいただく請求の額に運賃収入が入ってまいります。今回の減額の補正は、その運賃収入の相当分に当たるものでございます。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） 運賃収入というのは、当初から織り込んでというのはなかなか難しいんですね。そういった中で、こういう減額の方法しかないというふうなことでよろしいのでしょうか。

○議長（佐藤 郁夫君） 総合政策課長。

○総合政策課長（一尾 和史君） お答えをいたします。

議員、お見込みのとおりでございます。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、3款民生費について、まず、14番、田中真理子さん。

○議員（14番 田中真理子君） 38ページの3款1項1目の区分1です。

その13節委託料ですが、社会福祉センターには、電気、浄化槽等で年間398万1,000円がついているんですが、この総額、ちょっと少額なんですけど、何にあれに充てられたのかな、それを説明してください。

○議長（佐藤 郁夫君） 福祉事務所長。

○福祉事務所長兼福祉課長（栗嶋 忠英君） 福祉事務所長です、お答えいたします。

今回の委託料23万6,000円は福祉センター指定管理委託でありまして、電気料の負担のほうでございます。平成30年4月請求分から31年3月請求分までの12カ月分の電気料となっております。当初予算では、29年度実績をもとに平成30年度の予算を組んでおりますが、30年度の電気料は7月、8月と暑かったことで、平均の予想額を上回っておりますことから、1月、2月、3月の見込み電気料が足りないということで計上させていただいております。

○議長（佐藤 郁夫君） いいですか、太田洋一郎君、8つありますから、1個ずつにしてください。1項目ずつにしてください。

○議員（8番 太田洋一郎君） 今言いました、田中真理子議員が質疑した分で、同趣旨の分はもうわかりましたので結構です。

40ページの3款1項2目区分1地域支え合い事業を委託料の減額理由を教えてください。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） 健康増進課長です、お答えいたします。

この地域支え合い事業の委託料につきましては、介護保険特別会計の一般介護予防事業で実施しています事業所提案型介護予防教室の送迎費に係るものでございます。送迎に係る分としては公費負担がございませんので、全額一般財源となっております。減額の理由といたしましては、この介護予防教室を各事業所さんが実施していただいているんですけれども、その事業所が当初の見込みより伸びなかったことによるためでございます。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） わかりました。当初の見込みより少なかった、その理由といいですか、そういったやつがわかればお伺いしたいんですけど。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） お答えいたします。

この事業は、28年度から実施していきまして、当初は28年度は5事業所でしたが、29年度は9事業所ということで、かなり倍ぐらい延びたということで、今回少し多めのほうで事業さんも少し手を挙げていただけるかなということで組んだんですけども、29年度と同事業所ぐらいしかなかったということで、今後の取り組みを進めてまいりたいというふうに思っております。

○議長（佐藤 郁夫君） 次にどうぞ。

○議員（8番 太田洋一郎君） わかりました。では次、ページ数44ページです。3款1項6目介護保険事業で繰出金の減額理由と包括支援事業及び任意事業費の増額になっております。この理由をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） 健康増進課長です、お答えいたします。

この部分も、介護保険の特別会計と関連いたしますが、介護給付費の2,385万7,000円の減額につきましては、介護保険特別会計歳出の2款の介護給付費が減額したということと、介護予防日常生活支援総合事業費、これも介護給付にかかわる部分になりますが67万6,000円の減額ということで、その部分の市の負担というのが決まっております、それが12.5%となっております、その部分を一般財源、一般会計のほうから支出していただく繰出金という形になっておりますので、その部分が減額になったということでございます。

また、包括的支援事業任意事業の増額部分につきましては、大きいものと、任意事業で介護保険のほうで、高齢者の在宅にいらっしゃる方のおむつ等の購入のときの補助金を計上しておりましたが、30年度から県国の補助金のほうの対象から外れるということでございまして、その部分が全部一般財源になったということが大きい増額部分であります。その部分が142万5,000円の増額、それから残りの34万7,000円につきましては、包括的支援事業としまして、包括支援センターのほうに委託料をお支払しているんですけども、その部分が伸びておりました、その部分の市の負担金が34万7,000円ということで、その2つ合わせての増額部分となっております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） いいですか。続いて。

○議員（8番 太田洋一郎君） はい、わかりました。

次ですけれども、46ページの児童健全育成事業の委託料の減額をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（庄 忠義君） 子育て支援課長です。お答えいたします。

放課後児童クラブの運営費の中に、児童数によって区分される基本額というものがございまし

て、各クラブの年間の登録児童に増減がありましたことから、この補助基本額の区分の変更などによって、事業実績見込みに基づいて減額をするものでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） わかりましたというんですけれども、ただ、今、なかなか健全育成の中の枠から外れるとといいますか、そういった状況の中で、減額は致し方ないのかなというふうに思うんですけれども、放課後児童育成であぶれている人もおられるのではないかなと思うんですが、それで減額になるのかなと思うんですが、そこは僕の認識違いでしょうか。

○議長（佐藤 郁夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（庄 忠義君） お答えいたします。

今申し上げました、補助基本額の区分というのが、子供の受け入れの登録の児童数によって、1人から19人の枠とか、それから20人から35人の枠とか、その登録の児童数によって、基本額というのが違ってきます。当初、見込んでいたそのクラブの児童数が、年間通じた月の平均値を最終的にはとるんですが、そこが基本額が一番下のランクに下がるといったところのクラブがございまして、その基本額の減額に伴う今回の補正の減額という形になっております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。3回目です。

○議員（8番 太田洋一郎君） そうすることによって、利用する方々にいろんな影響が出たりとか、そういったことはなかったんですね。

○議長（佐藤 郁夫君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（庄 忠義君） 登録している、利用しているお子さんにとっては、支障は来していないということでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、「4款衛生費」について、8番、太田洋一郎君、順次どうぞ。2項目あります。

はい、どうぞ。

○議員（8番 太田洋一郎君） 48ページです。成人保健事業の委託料の減額理由をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） 健康増進課長です。お答えいたします。

この事業の委託料につきましては、39歳以下の集団検診の委託料、それから生活保護の方の委託料、それから胃がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、肺がん検診等のがん検診の委託料等

を計上しておりますが、実績見込みの受診者数に応じて、今回少なかったということで減額となっております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） その少なかった原因とといいますか、理由というのが、例えばPR不足であったのか、そういったことが考えられると思うんですけども、それなりに当初予算で区分でこれだけの減額というのは、ちょっと大きいんではないかなというふうに思うんですが、その改善策とといいますかそういったものがあれば。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） お答えいたします。

特定健診が、今年度から県が実施するというので、全市町村統一のものとなりまして、受診期間が、今まで市が行っていた5月から11月から、5月から2月まで大きく延びたということで、市のほうもその分を見越して少し多めに予算を、受けていただくということで、多めに予算を計上していたんですけども、その部分がちょっと見込みよりかまだ少ないという状況でございます。

それからPRにつきましては、市報とか回覧はもちろんですけども、やっぱり女性がん検診受診者がちょっと少ないということで、3歳刻みに個別発送の通知をさせていただいておりますし、受けやすい環境づくりということで、がん検診の際の託児とかも行っております。来年度もそういう形で、できるだけ周知に努めてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 太田洋一郎君。

○議員（8番 太田洋一郎君） せっかく予算を組んで、非常に素晴らしいことだと思いますので、少しでも多くの方に受けていただけるように、御努力をまた続けていただきたいというふうに思っておりますが、次でございます。50ページの4款1項2目区分1、母子保健推進事業の委託料の減額もお願いします。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） お答えいたします。

この委託料につきましては、妊婦健診、それから妊婦の超音波健診、新生児の聴力検査、乳児検診の委託料を計上しております。

妊婦健診につきましては、妊娠期間を通して全14回分、また乳児健診については前期、後期と2回分の委託料を計上させていただいております。

減額の理由としましては、本年度特に母子手帳交付数が少なくなっておりまして、その部分が

1人大体9万円から10人万円の助成ですけども、今の時点でかなり例年よりも少ないという状況で、それに伴って出生数も少なくなっておりますので、その部分が減額となっております。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） いいですか。

これで、議案第26号の質疑を終わります。

日程第22. 議案第27号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第22、議案第27号、平成30年度由布市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、質疑の通告がありませんので、これで質疑を終わります。

日程第23. 議案第28号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第23、議案第28号、平成30年度由布市介護保険特別会計補正予算（第3号）を議題として質疑を行います。

質疑の通告がありますので、発言を許します。3番、坂本光広君。

○議員（3番 坂本 光広君） 15ページの委託料、4款2項1目の1項目めの委託料等が全部で500万円の減額になっていますが、それは先ほど太田議員が言われたのを一緒だと思うんですけども、4回定例会でまた続けてほしいという請願も出ております。その中でも、これだけ減額になったというのはなぜかというのをちょっと教えていただきたいと思います。

○議長（佐藤 郁夫君） 健康増進課長。

○健康増進課長（馬見塚美由紀君） 健康増進課長です。お答えをします。

先ほどと同じような形なんですけども、この中には健康応援団の派遣でありますとか、すこやか健康サロン、それから先ほど申しあげました介護予防教室等が上がっております。第4回の定例会で、事業所提案型の介護予防教室継続に係る請願をお受けしたんですけども、その部分につきましては、30年度予算でしっかり実施してまいりたいと、まいる予定です。

そのあとのフォローとしましては、当初予算で今回、主なものを計上させていただいておりますので、そういうことです。

以上です。

○議長（佐藤 郁夫君） 坂本光広君。

○議員（3番 坂本 光広君） わかりました。ぜひ、たくさんの方にこの予防を受けてもらうように、ぜひお知らせをしていただきたいと思いますし、事業所の方もぜひやりたいというふうな形のお声も聞いておりますので、よろしくお願いします。

答弁はいいです。

○議長（佐藤 郁夫君） これで質疑を終わります。

日程第24. 議案第29号

日程第25. 議案第30号

日程第26. 議案第31号

○議長（佐藤 郁夫君） 次に、日程第24、議案第29号、平成30年度由布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）から日程第26、議案第31号、平成30年度由布市水道事業会計補正予算（第2号）までは質疑の通告がありませんので、これで質疑を終わります。

以上で、議案質疑を終了します。

それでは、承認第1号及び議案第12号から議案第38号までの28件については、会議規則第37条第1項の規定により、お手元に配付の議案付託表のとおり、それぞれ所管委員会に付託いたします。各委員会での慎重審査をお願いいたします。

○議長（佐藤 郁夫君） これで本日の日程は全て終了いたしました。

次回の本会議は3月12日午前10時から、補正予算に係る委員長報告、討論、採決を行います。

なお、3月12日の予算特別委員会における質疑事前通告書の提出締め切りは、あす3月8日の正午となっておりますので、厳守をお願いします。

本日はこれにて散会します。

御苦労さまでございました。

午前10時56分散会
